

薬物動態談話会 2026 年 1 月幹事会 議事録

日時：2026 年 1 月 30 日(金) 11:15～12:50

場所：ホテル東京ガーデンパレス 2F 高千穂 B(および Zoom ミーティング)

出席者：玉井会長、杉山名誉会長、山添名誉会長

小森 常任幹事、永易 常任幹事、大石 常任幹事、渡邊貴夫 常任幹事、坂本 常任幹事、榎園 常任幹事、渡邊伸明 常任幹事

主企画：千村・藤田 幹事、主庶務：野本・高野 幹事、主セミナー：生川・清水 幹事、主会計：島田・古川 幹事

副企画：蚊爪・萩 幹事、副庶務：丸谷・山中・平野 幹事、副会計：高嶋・秋元 幹事、副セミナー：前川・相馬・井上 幹事

議題 1：企画幹事（千村・藤田）

- 若手特別会員 特別講演講師について
4 月例会においては、若手特別会員による特別講演は実施しない。
9 月例会、夏セミナー、年会における若手特別会員の講演については、今後常任幹事間で相談のうえ検討することとした。
- 4 月例会の準備状況
現時点において、特段のコメント・指摘事項はなし。
準備は計画どおり進行していることを確認し、特別講師について若手特別会員からの選出は行わず、既に候補として挙がっている講師に対し、候補順に依頼を行うこととした。
- 9 月例会の準備状況
現時点において、特段のコメント・指摘事項はなし。
今後の進捗に応じて共有を行う。
- 前年度年会（第 48 回年会）反省点
 - 準備段階
会計内規の改訂はすでに実施済みであるが、改訂内容について再度確認が必要であるとの意見があった。
 - 企業展示
杉山名誉会長より、企業展示ブースに出展いただいていることを踏まえ、1 日目の展示紹介直後の休憩時間を多少延長する調整は問題ないとのコメントがあった。
企業紹介用資料の配布について検討する。
本年は会場が変更となるため、ブース用パネル等の仕様や準備内容が異なる可能性がある。変更や特別対応が必要な場合は、早めに常任幹事からブース展示企業の承認を得ることとする。

- 意見交換会
 - 全体写真は、意見交換会場で実施する。
- 第 49 回年会（11 月）準備状況とシンポジウムテーマについて
 - シンポジウム①に関する主な議論
 - 現在案として挙げられている「毒性・代謝」を含むテーマについて、以下の指摘があった。
 - 「代謝」という用語は基本的に低分子化合物を想定した言葉であり、高分子モダリティには制限的になってしまう。高分子の場合、「代謝」よりも動態・毒性といった枠組みの方が適切ではないか。
 - ADME / ADMET / QSP に関する議論
 - QSP は薬効寄りの概念であり、ADMET とはやや立ち位置が異なる。QSP を扱う場合、何を想定しているのかが不明確であり、組織委員・講演依頼の組み立て方が難しいとの意見があった。
 - QSP を取り上げるのであれば、たとえば Tox にフォーカスした QST にするといった調整をすれば議論は可能かもしれない。
 - 「多様なモダリティ」と広げすぎると、既知の内容になり議論が深まらないとの指摘があった。
 - 核酸、ADC、PROTAC 等、対象とするモダリティを明確に定めないとトピックが定まらない。ADC や PROTAC は過去にも議論されているため、どの切り口で絞るかを決める必要がある。
 - 小森常任幹事、永易常任幹事、主企画幹事間でテーマを絞り込むこととした。
 - シンポジウム②に関する主な議論
 - シンポジウム①と同様に、テーマが散らばりすぎているとの意見があった。
 - フォーカス案として以下が提示された。
 - NAMs に着目し、どのような動物実験が必要か、どのような評価系があるのか、に絞るのも一案。
 - イメージングにフォーカスするのか、NAMs そのものにフォーカスするのかをまず決める。
 - その上で、さらにテーマを絞り込む。
 - In silico、Organ-on-a-chip 等の技術をどう位置づけるかも検討事項。
 - シンポジウムの目的を「NAMs などの概念にフォーカスする」のか「特定の技術にフォーカスする」のかによって、テーマ決定の順番が変わる点を確認。
 - 若手特別会員の先生に講演を依頼する場合は、その講演トピックに合わせてシンポジウム全体のテーマを絞ることも選択肢とする。
 -

議題 2：庶務幹事（野本・高野）

- 幹事の交代
2026 年度の新任幹事について承認された。
- 2026 年 1 月例会 参加状況
例会 76 名、新年会 58 名であった。
- 入退会について
退会審議 3 社（日本たばこ産業株式会社、株式会社日立ハイテク、モレキュラーデバイスジャパン）が承認された。
- 年会費請求書の押印に関する件
PDF 請求書とする場合の押印について談話会印の画像埋め込みの検討を開始した。
- 6 月演習セミナーの会員外参加者に関する件
臨床薬理学会でフライヤーを配布したところ、現在までに 2 件（ELIQUENT JAPAN 及び Sanofi）の参加希望の問い合わせが届いている。講師の前田先生からも、積極的に外部に働き掛けを頂いている。他にも常任幹事会で挙げた団体に声掛けを実施していく予定。
また、以下の参加費用とすることが決定された。（非会員企業：¥30,000、大学・病院・規制当局：¥12,000、会員企業・学生：¥6,000）
- ホームページ（HP）リニューアル後の仕様確認
HP リニューアルに向け現在、庶務幹事と HP 作成業者間でその仕様の確認・協議中。庶務常任幹事や（必要に応じて）玉井会長も含め、その仕様について確認する。今後の予定や過去の発表内容についても HP から閲覧できる仕様にする。
- Zoom アカウントの更新
期間・費用共に了承された。
- 今後の例会日程
2026 年：
4 月例会：4/17（金）、千里ライフサイエンスセンター（予約済）
6 月演習セミナー：6/26（金）、長井記念会館（予約済）
9 月例会：9/18（金）、長井記念会館（予約済）
第 49 年会：10/29（木）～30（金）、ホテルクラウンパレス浜松（予約済）

2027 年：

1 月例会：1/29（金）東京ガーデンパレス（仮予約）
4 月例会：4/23（金）千里ライフサイエンスセンター（予約済）
6 月例会：6/18（金）または 25（金）場所未定
9 月例会：9/17（金）または 24（金）場所未定
第 50 年会：11/25（木）～26（金）オークラアクトシティホテル
浜松（仮予約）

2028 年：

1 月例会：1/21（金）または 28（金）東京ガーデンパレス（候補）
4 月例会：4/21（金）または 28（金）千里ライフサイエンスセンタ
ー（候補）
第 51 年会：11/9（木）～10（金）または 11/16（木）～17（金）
オークラアクトシティホテル浜松（候補）
＊打ち合わせ終了後、4 月例会の候補日 4/28（金）は GW な
ので、外した方が良くとの意見を頂いたため、次回以降は外して提案
する。

2029 年：

第 52 年会：11/15（木）～16（金）または 11/22（木）～23
（金）オークラアクトシティホテル浜松（候補）

- 次回幹事会の予定
4 月幹事会：2026 年 4 月 17 日（金）17:00～19:00
会場：千里ライフサイエンスセンター

議題 3：セミナー幹事（生川、清水）

- 会場予約状況の報告
会場は昨年度と同じ東レ総合研修センター、日程は 2026 年 8 月 26 日
（水）～28 日（金）で予約確定したことを報告した。
- 来年度予算案の報告
近年の参加者数を鑑みて、一般参加者 45 名（総参加者 75 名）で東レ総合
研修センターより見積を取得した。謝礼・交通費並びに二次会費用・雑費
等は昨年度実績を参考に、談話会負担額見込みを 1,145,010 円と試算し
た。特にご意見等は無かった。
- セッション案についてのご審議

昨年度の実施後アンケートより、聴講ニーズの高い題目を抽出して構成した。以下のセッション案で進めることについてご了承を頂いた。
AI に関して、解析の再現性に関する懸念についてコメントを頂いたため、課題の一つとしてセッション内で議論することを検討する。

メインテーマ（案）：

薬物動態研究の新展開 ～評価法の深化・ニューモダリティ・AI が描く未来～

セッション（案）：

<u>セッション 1：予測精度向上を目指した ADME 評価法の新潮流</u> 演題案) ・ マイクロ流体デバイスを用いた ADME 予測の精緻化 ・ 質量分析イメージングの活用事例（マイクロ PK）
<u>セッション 2：ニューモダリティの薬物動態評価：現状と課題</u> 演題案) ・ ペプチド医薬品の薬物動態評価 ・ 核酸医薬品の薬物動態評価
<u>セッション 3：AI・デジタル技術の導入による薬物動態研究の革新</u> 演題案) ・ AI の基礎（AI とは？薬物動態評価への活用に関する展望など） ・ 実際の活用事例の紹介

特別講演（案）：過去数年間の演者案等を参考に検討中。若手特別会員の先生にご担当頂くかどうかについては継続協議する。

議題 4：会計幹事（島田、古川）

- ・ 2025 年第 48 回年会（収支報告）の報告
- ・ 浜松コンベンション開催助成金制度（報告・申請）についての報告
2026 年度も使用できるように 1 月中に申請書を事務局に提出済み。
- ・ 次年度の会計幹事への引継ぎ（ご承認事項）
会計幹事の交代に伴う新規法人口座開設にあたって、例年通り、薬物動態
談話会の会計上の事務所の所在を、2026 年度会計幹事であるわかもと製薬

株式会社 会計幹事代表者（高嶋 光代 様もしくは秋元 匠太 様）の自宅住所
とすることが承認された。

以上